

第49回衆議院総選挙から一年。 感謝のご挨拶と改めでの決意。



文部科学大臣政務官・復興大臣政務官に就任



文部科学委員会に出席し、大臣政務官として挨拶。

ご挨拶
2021年10月31日から一年が経ちました。まずは、この一年間を国会議員として送り出して頂き、これまでお支えいただきました全ての皆様のお陰でございます。心より感謝申し上げます。

昨年の今日、衆議院議員として初当選させて頂き私の人生は一変しました。初登院の時に、正門から初めて足を踏み入れ国会議事堂まで歩いて進んだ道のりは、目の前に見上げる国会議事堂に足を踏み入れるにあたっての覚悟が問われているようで、その距離に比べてとても長く感じたことを覚えています。当選できた嬉しさよりも、国家や国民の皆様のために働かせていただくこの職務の責任をより強く感じていたからです。

最初は文字通り、右も左も分からなくて議事堂の中で迷ったこともありましたが、一つ一つ、一日一日を焦らず、その日できることに集中して過ごそうと心がけて参りました。分からないことだらけでしたので、自民党の部会には、毎朝8時から、そして日中もできる限り多く出席し、550回これまで出席してきました。

委員会への総出席時間は176時間。文科省・復興庁での公務としてレクや表敬訪問・視察など131回とこれまで活動して参りました。

その他、衆議院の各委員会での質問も4回させて頂きました。衆議院予算委員会分科会で2回、経済産業委員会・内閣委員会の連合審査会では、重要法案であった「経済安保に関する質問」。厚生労働委員会では児童福祉法改正案にかかわる参考人質疑での質問の機会も頂きました。

8月12日には、一年に満たない当選後275日目であったにもかかわらず岸田総理より文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命されましたことは、日頃よりお支えいただいている全ての皆様のおかげです。世界を見ればロシアによるウクライナ侵略をはじめ、国内でも想像することもできない出来事が次々と起こりまさに激動の一年でした。

この激動の中、今こうして2年目を迎えることができるのも、皆様からのご支援ご指導の賜物であり厚く御礼申し上げます。これからも現場主義を心がけ、誰もが何歳になっても安心して暮らせる、何度でも挑戦できる希望を持てる社会づくりを目指し、責任感と緊張感を持って一意専心、職務に全力をつくして参ります。いつもありがとうございます。

文部科学大臣政務官
復興大臣政務官
衆議院議員

山本左近

廃炉作業が進む福島第一
原発を復興大臣政務官として視察。



経済産業委員会・内閣委員会連合審査会にて「経済安全保障推進法案」について小林大臣（当時）へ質問。

衆議院議員 山本左近

元F1ドライバー

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

《やまもと・さこん》
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。40歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療・介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。現在、厚生労働委員、経済産業委員、科学技術・イノベーション推進特別委員、東日本大震災復興特別委員、自民党国会対策委員、自民党青年局長、自民党モータースポーツ振興議員連盟事務局長などを務める。日本語、英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

不屈の
三河武士

